

2021年度 事業計画書

自：2021年4月 1日
至：2022年3月31日

公益財団法人 三康文化研究所

目 次

1. 公 開 集 会
2. 研 究 座 談 会
3. 研 究 会
4. 研究冊子の刊行
5. 学 会 参 加
6. 附 属 図 書 館
7. 収益事業(建物賃貸業)

1、公開集会(テレビ会議システム、zoom等も含む)

① 公開集会 年2回

在室研究員が講師となり、研究に関心のある方を対象に開催する。

2、研究座談会(テレビ会議システム、zoom等も含む)

① 研究座談会 年2回

在室研究員が中心となり、これを開催する。

3、研究会(テレビ会議システム、zoom等も含む)

(会名下の()内は、在室研究員による担当者を示す)

① 原典研究会(西村実則) 年6回

梵本・パーリ本の仏典を中心に対比較合輪読。

梵本『ニダーナサンユクタ』、『雑阿含経』の研究。

② 日本仏教史研究会(宇高良哲) 年10回

日本仏教史に関わる基礎的文献の調査と整理と検討。

③ 浄土教典籍研究会(林田康順・柴田泰山・石川琢道) 年6回

凝然『浄土法門源流章』の研究。

4、研究冊子の刊行

① 年報の刊行

第52号 A5判・約150頁

300部・年1回

② 所報の刊行

第56号 A5判・約70頁

300部・年1回

5、学会参加 年1回(6名)(テレビ会議システムzoom等での参加も含む)

関係大学・団体の主催する学会に在室研究員参加

6、附属図書館

① 管理

書庫・資料管理

○書庫環境管理

年間を通した温湿度の測定と空調管理

年2回の書庫内清掃の実施

○カビ・虫害対策

委託業者による害虫駆除の書庫内消毒実施(8月)

データ入力時における資料の清掃

○劣化資料保存対策

酸性紙対策の実施(委託業者による脱酸処理)

資料の修復・修理、デジタル画像データ作成(委託業者による破損資料の修復・修理、

デジタル画像データ作成)

職員による資料の補修並びに保護処置(データ入力時及び閲覧出納時)

② 新規資料の受入と公開

宗教、哲学、旧大橋図書館の蔵書に関する基本資料及び研究に必要な資料を購入すると

ともに、他機関(図書館、大学、研究所等)との寄贈交換等によって資料を収集する。

また、受入資料はデータ入力後、速やかにインターネットで検索できるようにする。

③ 蔵書資料のデータベース作成とインターネット公開

当館では新規受入資料の他に、旧大橋図書館の蔵書や各種文庫等の資料を所蔵している。

インターネットで検索できる資料は全体の42%であり、今年度もデータ作成作業を継続して

いく予定である。本来なら、「現在検索手段がない分野」の資料のデータを最優先で入力すべきであるが、昨年度よりコロナ感染症予防対策から、在宅勤務にての業務が多くなった関係で、冊子体目録(地理地誌、文学)のデータ入力を優先している。

データ作成予定分野、データ公開状況は次の通りである。

(イ) データ作成予定分野

○現在検索手段がない分野(本来最優先に入力する予定)

旧大橋図書館の蔵書

自然科学、工学

三康図書館設立以降の蔵書

湯山文庫の外国語資料の一部

○冊子体目録で資料を探す分野(在宅勤務にて入力している)

旧大橋図書館の蔵書

地理地誌、文学、欧文書、国書、漢籍

三康図書館設立以降の蔵書

内田文庫、椎尾文庫、増谷文庫

○書名五十音リストで資料を探す分野

旧大橋図書館蔵書

歴史、伝記、語学、教育

○カード目録で資料を探す分野

三康図書館設立以降の蔵書

2001年度以前の受入図書

竹田宮家文庫

(ロ)現在ホームページで蔵書検索が可能な分野

○ライブファインダー・ウェブ(OPAC)による蔵書検索

旧大橋図書館蔵書

総記、哲学・宗教、政治、法律、経済、財政、統計、社会学、風俗習慣・民俗学、国防・軍事、
産業、芸術、

児童書、総記の一部、宗教・哲学の一部、工学の一部、憲秩素本

三康図書館設立以降の蔵書

2001年度以降受入図書、雑誌、同人誌、湯山文庫雑誌、湯山文庫日本語・外国語図書
の一部、椎尾文庫日本語図書

○書名五十音リストによる蔵書検索

旧大橋図書館蔵書

歴史、伝記、語学、教育

(ハ)今年度作業計画

○旧大橋図書館資料(地理地誌、文学、自然科学)のデータの入力とホームページ公開

○椎尾文庫外国語資料のデータ入力とホームページ公開

○湯山文庫外国語資料のデータ入力とホームページ公開

④ 利用者へのサービス

(イ)インターネットにおける情報発信、蔵書検索(OPAC)の充実

○ホームページ、FACEBOOK(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)の運用の充実

○VR(バーチャルリアリティ)を利用した書庫・蔵書紹介

(ロ)その他

○新刊受入資料、所蔵資料が紹介された出版物、ホームページ、FACEBOOK、Twitterで紹介
した資料などの展示(コロナ感染症の状況を考慮しながら実施)

○ロビーにおける「ミニ展」(展示ケース使用)、閲覧室における「蔵書紹介」(ディスプレイ
ラック使用)による所蔵資料の紹介(コロナ感染症の状況を考慮しながら実施)

○研究員による所蔵資料の紹介コーナーを閲覧室に設置(コロナ感染症の状況を考慮し
ながら実施)

○古典籍(江戸時代の版本・写本)のデジタル画像データを当館ホームページや国文学研
究資料館の「新日本古典籍総合データベース」で公開

○「レファレンス協同データベース」(レファレンス事例データベース)(国会図書館運営)
におけるレファレンス事例紹介

○外部イベント(図書館総合展など)における広報活動

○動画を活用した図書館の紹介(オンラインにて紹介するイベントの開催も考慮)

7、収益事業(建物賃貸業)

2階の一部を賃貸する

①宗教法人増上寺へ貸事務所として

②公益財団法人全日本仏教会へ会議室として

2021年度の事業計画は以上の通りです。

2021年2月17日

公益財団法人 三 康 文 化 研 究 所

理 事 長 八 木 季 生